

製品名: p63 (リン酸化 Ser455) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05181**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

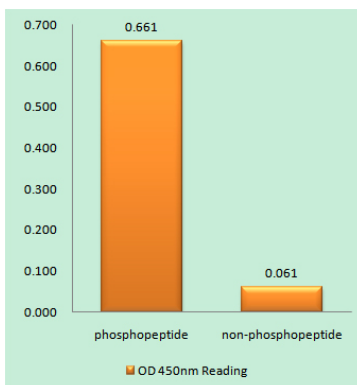
遺伝子名	TP63 TP63; KET; P63; P73H; P73L; TP73L; Tumor protein 63; p63; Chronic ulcerative stomatitis protein; CUSP; Keratinocyte transcription factor KET; Transformation-related protein 63;
別名	TP63; Tumor protein p73-like; p73L; p40; p51
遺伝子 ID	8626.0
SwissProt ID	Q9H3D4
免疫原	抗血清は、Ser455 のリン酸化部位周辺のヒト p63 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 421-470

背景

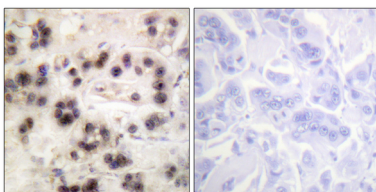
この遺伝子は、転写因子の p53 ファミリーのメンバーをコードしています。p53 ファミリータンパク質の機能ドメインには、N 末端トランス活性化ドメイン、中央 DNA 結合ドメイン、およびオリゴマー化ドメインがあります。この遺伝子の選択的スプライシングと代替プロモーターの使用により、機能特性が異なる異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。これらのアイソフォームは、皮膚の発達と維持、成体幹細胞/前駆細胞の調節、心臓の発達、および早期老化に機能します。一部のアイソフォームは、DNA 損傷を受けた卵母細胞または精巣生殖細胞を排除することで生殖細胞系列を保護することがわかっています。この遺伝子の変異は、外胚葉異形成、および口唇口蓋裂症候群 3 (EEC3)、分離手足奇形 4 (SHFM4)、眼瞼癒着-外胚葉欠陥-口唇口蓋裂に関連しています。ADULT 症候群 (肢端皮膚爪涙管歯症候群)、四肢乳房症候群、ラップホジキン症候群 (RHS)、および口唇顔面裂 8。

研究分野

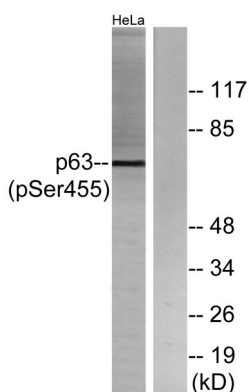
画像データ



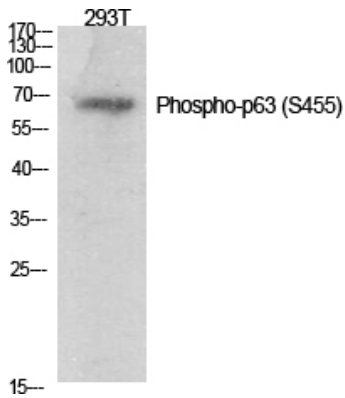
p63 (リン酸化 Ser455) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



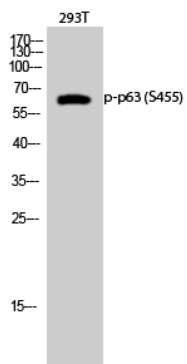
p63 (リン酸化 Ser455) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



TNF 2500U/ML 30 '処理した HeLa 細胞ライセートの p63 (リン酸化 Ser455) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンにはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 p63 (S455) ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して、様々な細胞をウェスタンブロット解析した。



リン酸化 p63 (S455) ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析